

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 高梁市		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 716-8501 岡山県高梁市松原通2043番地	
本票作成	部署名：企画財政部 財産活用課				
主たる業種	分類コード	98	業種名：地方公務		
事業の概要	市政運営 事業規模：職員数611人、対象施設数178所、保有車両256台				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	高梁浄化センター		高梁市原田南町 9 6 0	
	②	高梁市国民健康保険成羽病院		高梁市成羽町下原 3 0 1	
	③	高梁市役所本庁舎		高梁市松原通 2 0 4 3	
	④	有漢地域局		高梁市有漢町有漢 3 3 8 7	
	⑤	養護老人ホーム成羽長寿園		高梁市成羽町成羽 2 2 5 1 番地 1	
	⑥	特別養護老人ホーム鶴寿荘		高梁市成羽町下原 2 6 8 番地 1	
特定事業者の該当要件	<input type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 176 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 7 年度 ～ 令和 7 年度 ( 1 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 1.0 %	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満	
		<input type="checkbox"/> 原単位基準								○
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 6 年度)			目標年度 (令和 7 年度)						
	6,873 t CO <sub>2</sub>			6,804 t CO <sub>2</sub>						
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 6 年度) の排出量						
	①	高梁浄化センター		890 t CO <sub>2</sub>						
	②	高梁市国民健康保険成羽病院		807 t CO <sub>2</sub>						
	③	高梁市役所本庁舎		499 t CO <sub>2</sub>						
	④	有漢地域局		399 t CO <sub>2</sub>						
	⑤	養護老人ホーム成羽長寿園		241 t CO <sub>2</sub>						
	⑥	特別養護老人ホーム鶴寿荘		206 t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 6 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

総排出量年1%の削減を目標とする。

【目標削減率達成のための推進体制】

責任者：財産活用課長 担当部署：企画財政部財産活用課財産活用係  
所属長会議等で、省エネ、節電について意識啓発し、計画推進に努める。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業前及び昼休みの消灯、空席の島別消灯</li> <li>・冷暖房運転の集中管理、設定温度の上限下限設定、タイマー管理</li> <li>・クールビズ、ウォームビズ運動の推進</li> <li>・出張時の公共交通機関の利用促進</li> <li>・デマンド監視装置設置による電気使用量管理</li> <li>・ノー残業デイ実施による節電</li> <li>・主要施設の毎月の電気使用量を職員へ周知し、全体の節電意識啓発を行う。</li> </ul>

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業前及び昼休みの消灯、空席の島別消灯</li> <li>・冷暖房運転の集中管理、設定温度の上限下限設定、タイマー管理</li> <li>・クールビズ、ウォームビズ運動の推進</li> <li>・出張時の公共交通機関の利用促進</li> <li>・デマンド監視装置設置による電気使用量管理</li> <li>・ノー残業デイ実施による節電</li> <li>・主要施設の毎月の電気使用量を職員へ周知し、全体の節電意識啓発を行う。</li> </ul>

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・クールビズ（軽装、ポロシャツ着用）、ウォームビズ運動の浸透に取り組んでいる。  
・令和5年度に、各施設について太陽光発電設備導入可能性調査を実施結果に基づき、導入可能施設については、導入に向けた詳細な現地調査を行う。併せて、EMS導入可能性調査を実施する。